

第 1 2 回日中韓原子力安全上級規制者会合 (TRM) の 結果概要について

令和元年 1 2 月 4 日
原子力規制庁

- 1 1 月 2 8 日 (木)、中国・北京市において、中国環境保護部・国家核安全局 (MEP/NNSA) のホストの下、第 1 2 回日中韓原子力安全上級規制者会合 (TRM) が開催された。
- 原子力規制委員会からは伴委員他が出席、中国は今会合の議長である環境保護部・国家核安全局 (MEP/NNSA) のリウ (LIU) 局長他が出席、韓国は原子力安全セキュリティ委員会 (NSSC) のチャン (JANG) 上級委員兼長官他と技術支援機関 (KINS) の専門家が出席し、参加者は、日中韓総勢約 4 0 人となった。
- TRM では、日中韓の各原子力規制機関の取組や、傘下の 2 つの作業部会 (人材育成に関する作業部会及び緊急時対応に関する作業部会) の活動の総括、中国で開催された合同緊急時訓練についての報告等がなされ、今後の進め方について議論が行われた。
- 韓国から東京電力福島第一原子力発電所における ALPS 処理水の処分方法や情報提供について言及があり、原子力規制委員会が処分方法を決定する立場になく、まだ処分方法も決定されていないこと、引き続き、国際社会に情報提供を行うこと等を説明した。
- 日中韓の 3 つの原子力規制機関が、日中韓の原子力安全の向上と地域協力の強化を図るため、当該会合を通じ、今後とも情報交換を行っていくことで合意した。次回は、令和 2 年 1 1 月 2 4 日 (火) に日本で開催される予定。

(参考) 日中韓原子力安全上級規制者会合 (Top Regulators Meeting on Nuclear Safety: TRM) について

- TRM は、日本、中国、韓国の原子力安全規制機関の幹部が原子力規制課題や技術向上のための情報交換等を推進、原子力安全の向上と地域協力の強化を図ることを目的に、2 0 0 8 年設置。毎年 1 回、3 機関が持ち回りで開催。今回は第 1 2 回の会合。

以上